

さいたま市立植水小学校

〒331-0057 さいたま市西区中野林225-1

TEL 048-624-4235

FAX 048-624-2280

Web ページ <http://uemizu-e.saitama-city.ed.jp/>

E-Mail [uemizu-e@saitama-city.ed.jp](mailto:uemizu-e@saitama-city.ed.jp)

令和3年度 10月号 令和3年9月30日 発行



# 学校だより

～創立133周年～

## 「やればできる」 あきらめずにやり抜く力の源

校長 大塚 雅之

近頃は過ごしやすい日も多くなり、体を動かすにもよい季節になってまいりました。校庭を見渡すと、子どもたちが元気に外で体を動かしている様子が見られます。最近では鉄棒やなわ跳びに取り組んでいる子がたくさんいます。体育の時間だけでなく、休み時間にも、いろいろなことができるようになるために一生懸命、精一杯頑張っている姿が何とも微笑ましく、素敵で、とても嬉しい気持ちでいっぱいになります。きっと自分が目指していることができるようになっていくでしょう。

2学期が始まって約1か月、学校ではオンライン学習が導入され、今できることに精一杯取り組んでいます。緊急事態宣言期間では、学校行事等の変更もあり、みんなが学校にそろって何かをするということはなかなか難しい状況であります。こうした生活が長く続くと、もう何もできないのか、みんなで楽しい行事はできないのか、不安や意欲低下などで負のイメージが強くなり、何かとあきらめムードが漂ってしまいがちです。この影響で、自分の目指すものに対しても、思うように取り組めないことにつながってしまうこともあるようです。

先日の講話朝会の中で「最後まであきらめずに頑張ること」について子どもたちに話をしました。高校野球地区予選決勝戦、最終回に8点差を逆転して甲子園に出場した石川県の星稜高校のこと、この夏、日本代表女子バスケットボールの試合、残り時間僅かでの3ポイントシュートで逆転勝利したことを紹介しました。最後まであきらめなかったこと、勝利するために、今まで自分たちがやってきたことを信じ、よいイメージをもち、心が折れることなく、挫けず、強い気持ちでやり抜いた結果です。最後まであきらめずにやり抜くという精神はとても素晴らしいことだと思います。ここから学ぶべきことがたくさんあります。

学校生活の中で、子どもたちはできるようになることを目指して、今できることを精一杯やりながら頑張っている。うまくいかず、挫けそうになり、あきらめてしまうかもしれません。そんなときは、そういう弱い心を生み出す鬼を、自身の強い精神をもって「刃で斬る」そして「やればできる」つまり、できるようになるために、とにかくやれることをやる、やってみることを続ける、あきらめずにやり抜くことが大切です。この力の源は、続けてよくやってきた自分を信じ、自分はできる、やれる、今日もこれからも、だから挫けることは絶対にないと思いを鼓舞し、よいイメージをもつことだと思います。この先の自分のためにも、今を頑張ることで、「今できないこともいつかできるようになる」ことにつながり、経験を多く積み積むほど、心も体も強くなり、自信や力が身に付いていくことでしょう。

いよいよ「緊急事態宣言」は解除されますが、引き続き感染症対策を十分に講じながら、安全・安心で充実した学校生活を送れるように努めてまいります。学校行事等について、状況によって変更等もありますが、制限のある生活の中でもできることを、目的や感染拡大防止の観点を踏まえながら進めてまいります。引き続き、保護者、地域の皆様、御理解と御支援、御協力のほどよろしくお願いいたします。